

きょうしん

毎月1日の「ノーTVデー」を実践しましょう!!

発行日
平成26年3月15日
発行
平泉町教育振興運動推進協議会
(平泉町教育委員会内)
TEL 46-5576
FAX 46-2015

地域ので教育活動を支援 ～ 260人がボランティアで協力～

「放課後子ども教室」と「学校支援ボランティア」の取り組みを協議する「第3回平泉町教育支援活動推進委員会」が3月5日に行われ、今年度の学校教育活動に支援をいただいたボランティアの方々の人数が報告されました。

年間で260人という多くの地域の方々に支えられ、地域と関わり合うことで、子どもたちの学びをより深めることができました。



第3回平泉町教育支援活動推進委員会

放課後子ども教室「わくわくフィールド」

放課後に遊びや学習、スポーツ、創作活動など、子どもたちの居場所をつくりました。

- 「平泉わくわくフィールド」(平泉小学校)
毎週月曜日、水曜日、木曜日の放課後
→ H25年度ボランティア数57人(のべ220人)
- 「長島わくわくフィールド」(長島小学校)
毎週月曜日、木曜日の放課後
→ H25年度ボランティア数33人(のべ54人)



学校支援ボランティア

授業の補助や校外授業の付き添い、学校行事の手伝い、環境整備などの学校支援を行いました。

- 平泉小学校……図書室の本の修理、読み聞かせ、マラソン大会補助、菊作り、生け花、雨どい清掃、草取り、登下校見守り(スクールガード)など
→ H25年度ボランティア数78人(のべ289人)
- 長島小学校……ミシン指導、図書室の本のカバー掛け、読み聞かせ、楽器指導、陸上競技大会実技指導、水泳指導、登下校見守り(スクールガード)など
→ H25年度ボランティア数74人(のべ219人)
- 平泉中学校……図書室の本のカバー掛け、よさこいソーラン指導、太鼓指導、夢あかり制作、生け花、包丁とぎ、工具の手入れなど
→ H25年度ボランティア数18人(のべ133人)

日ごろの学習成果など披露 ～教育振興運動推進大会～



平泉町教育振興運動推進協議会では2月16日、さらなる運動の活性化を目指して「教育振興運動推進大会」を平泉小学校体育館で開催しました。

「平泉学」をテーマにした実践活動発表では、平泉小学校の世界遺産学習の取り組みと、教育委員会のジュニア平泉文化歴訪団の取り組みについて、それぞれ発表しました。

発表①

世界遺産の町 平泉

～古都 平泉から学ぶ 歴史 人 絆～

発表者：平泉小6年 菅原大暉、小野寺紘子、村田愛瑛、岩淵ゆか

※この発表は、平成25年12月22日に奈良市で行われた「世界遺産学習全国サミット in 奈良」で大好評を得た発表で、今回、町民の皆さんにご披露したものです。



◆平泉小学校では、3年生から総合的な学習の時間に平泉について学習します。

◆3年生のテーマは「発見 探険 平泉」で、平泉の「自慢」を発見するために様々な所へ探険に出かけました。平泉は昔から平和を大切にしてきた浄土の町なのだを知り、探険場所で説明して下さった人たちは、それを誇りに思いわたしたちに伝えたいと強く思っていることを感じました。

◆4年生のテーマは「笑顔広がれ 平泉」です。祭りには昔の人々の思いが込められ、これまで受け継ぎ、引き継いでいこうとする人々の

熱い思いを知ることができ、人とふれ合うことの喜び、祭りに参加することの楽しさ、町に貢献することの大切さを感じました。

◆5年生のテーマは「知ろう！創ろう！平泉の産業」です。様々なことに挑戦し、その一つが黄金メロンの栽培と販売です。人を温かく迎える心と町を少しでも良くしていこうとするたくさんの人々の思いを感じ、一人一人の力によって平泉は支えられていることが分かりました。

6年生 平泉のために 自分たちができること

仙台でパンフレットを配る



◆6年生のテーマは「平泉のために、自分たちにできること」です。パンフレットを作り学習旅行のときに仙台の人に配りました。もっと観光客に来ていただきたい、もっと気持ちのいい平泉にしていきたい、という思いが強くなりました。

◆わたしたちが伝えたいこと、それは、世界平和と人との絆の大切さです。中尊寺金色堂の光と毛越寺の鐘の音の響きに託した清衡の思いを、今、平泉の歴史について学び、人と関わり絆を深めることを通して受け継ぎ、世界遺産の町、平泉から発信していきたいと思えます。

発表② ジュニア平泉文化歴訪団について

発表者：平泉小6年 千田美怜、千葉理奈、北嶺悠
長島小6年 石川はな、千葉玲奈

※この歴訪団は、平成25年度から新たにスタートした教育委員会の社会教育事業で、奥州藤原文化に関連する県外の史跡等を訪れ平泉文化の認識を深めることなどを目的にしています。



◆期 日…平成25年8月7日(水)～9日(金)

◆訪問地…白水阿弥陀堂(いわき市)、白河の関(白河市)、阿津賀志山防塁(国見町)、高蔵寺阿弥陀堂(角田市)ほか

◆参加者…平泉小と長島小の5、6年生 計23人

◆白水阿弥陀堂は国宝です。1160年平安時代後期に、藤原清衡の娘「徳姫」が金色堂をまねて造ったと言われています。「白水」という字は、「泉」の文字を2つに分けたと言われ、その他にもいわき市には「平」という地名もあり、この2文字を合わせると「平泉」となることから、平泉と深いつながりがあるということが分かりました。

◆白河の関は、藤原氏の頃の平泉の南の端で、陸奥国の入り口でした。少なくとも1200年前にはあったと言われていますが、藤原氏の頃にはすでに関所としては使われていなかったと言われています。

◆阿津賀志山防塁は、1189年に藤原氏が「厚樫山(あつかしやま)」から「阿武隈川」まで2本の堀と土塁を造り、源頼朝の侵入を防ごうとした防塁で、長さ約3.2km、2本の堀があることから「二重堀(ふたえぼり)」とも言われています。防塁は25万人を動員して6か月かけて造り、堀の幅10～12m、深さ6m、斜面角度50°と、鎧を着た武者や騎馬が乗り越えるのが困難な大きさでした。しかし、頼朝の軍勢は夜のうちに土塁を削り、堀を埋めて攻め、藤原氏の軍勢は敗れてしまいました。

◆国見小学校の児童との交流では、アイスブレイクやゲームで緊張をほぐし、事前研修で作った手作りの名刺を渡して自己紹介し、紹介パネルで平泉のまちを紹介しました。また、飯坂温泉での合同宿泊や「桃狩り体験」を通じて、友達をたくさん作る事ができました。

◆この研修で、藤原氏の当時の勢力やその広さ、それぞれの地名などにも影響を及ぼしていることなどが分かり、改めて奥州藤原氏の偉大さを感じたし、国見町の児童と友達になれたので良かったです。



白水阿弥陀堂



阿津賀志山防塁



児童交流で名刺交換

テレビ等の視聴時間が長い傾向にあります

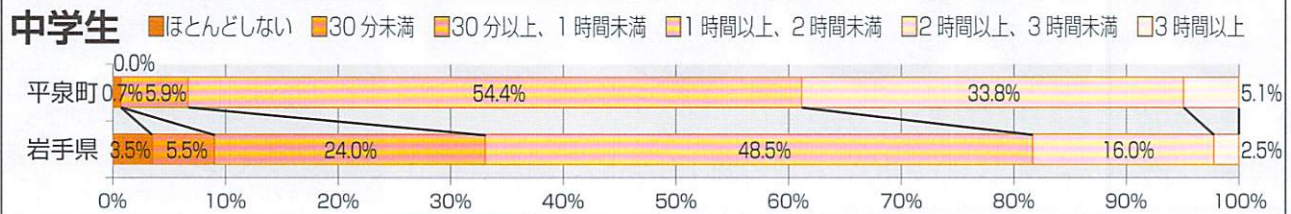
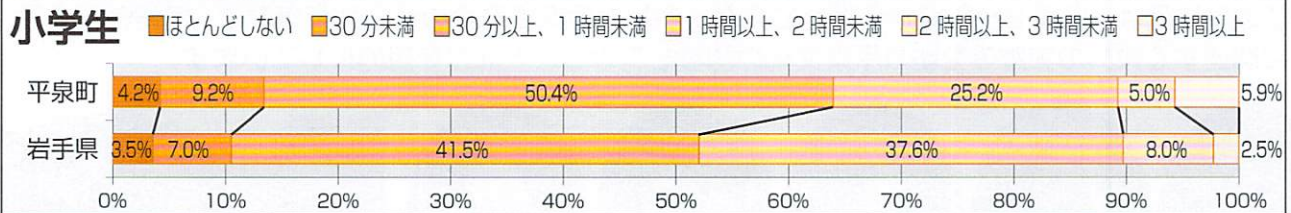
～県学習定着度状況調査結果（抜粋）～

小学4、5年生及び中学1、2年生を対象に行った県学習定着度状況調査の結果がまとまりました。そのうち、家庭学習、読書活動、テレビ等視聴時間についてお知らせします。

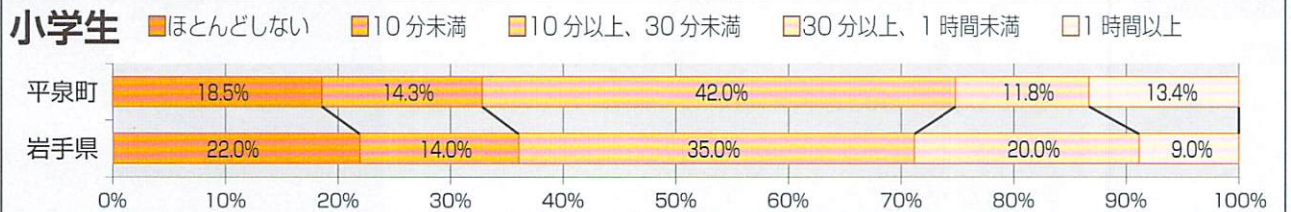
家庭学習	中学生は県を大きく上回る学習時間でした
読書活動	ほぼ県と同様の読書時間でした
テレビ等視聴時間	3時間以上視聴する割合が県より非常に高くなっています

※教育振興運動による「ノーTVデー」の取り組みや読書活動を積極的に進めていく必要があります。

家庭学習 学校の授業以外で、1日にどのくらい勉強しますか。



読書活動 学校の授業以外で、1日にどのくらい読書をしますか。



テレビ等視聴時間 1日にどのくらいテレビやビデオ、DVDをみますか。

